



2022年2月10日

各 位

本社所在地 東京都中央区日本橋室町四丁目1番11号
 会社名 堀田丸正株式会社
 代表者 代表取締役社長 平岩 誠
 (コード番号 8105 東証第二部)
 問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 矢部 和秀
 (TEL 03-3548-8139)

特別利益、特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期決算（2021年4月1日～2021年12月31日）において特別利益及び特別損失を計上するとともに、2021年5月14日公表の2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）通期連結業績予想につきましても最近の動向を踏まえて下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組みとして実施しました従業員の休業に伴う雇用調整助成金の受取額は、2022年3月期第3四半期会計期間（2021年10月1日～2021年12月31日）に7,803千円を特別利益に計上したことにより、2022年3月期第3四半期累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）では14,099千円を特別利益に計上しております。

2. 特別損失の計上

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の取組みとして実施しました従業員の休業に伴う発生した人件費は、2022年3月期第3四半期会計期間（2021年10月1日～2021年12月31日）に15,374千円を特別損失に計上したことにより、2022年3月期第3四半期累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）では28,443千円を特別損失に計上しております。

3. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,200	20	19	3	0.05
今回修正予想(B)	3,900	△180	△160	△230	△4.09
増減額 (B - A)	△1,300	△200	△179	△233	
増減率 (%)	△25.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	3,779	△536	△530	△809	△14.40

(修正の理由)

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言が再発出され主要取引先である百貨店や専門店の営業時間短縮や休業などにより大幅な売上減少となりました。

緊急事態宣言解除後においては一部で回復の傾向はみられたものの、新型コロナウイルス(オミクロン株)感染症拡大に伴い各地域でまん延防止等重点措置が適用され厳しい状況が予測されます。

また、2021年12月16日公表の「当社グループの構造改革の継続実施及び特別損失計上見込みに関するお知らせ」にありますとおり、ライフスタイル事業のうちの寝装品卸及びファッション事業内のベビー・キッズ商品の卸販売事業の撤退を行うこともあり売上高は大幅な減少となる見込みです。

営業利益においては、経費面では、前年においてブランド「馬里邑」の事業撤退に加え、一部賃貸倉庫を返却、子会社(株)吉利の事業所を本社社屋へ移転統合など、固定経費の圧縮を推し進め、損益分岐点売上高を引き下げてまいりました。

しかしながら、事業撤退を含んだ売上高の減少影響を受け、営業損失を計上する見通しとなりました。経常利益においては、貸付による受取利息収入を計上いたしますが、営業損失の影響を受け経常損失となる見込みです。

当期純利益については、新型コロナウイルス感染症に関連した助成金収入による特別利益はあるものの、感染症関連損失及び2021年12月16日公表の「当社グループの構造改革の継続実施及び特別損失計上見込みに関するお知らせ」にありますとおり、ライフスタイル事業のうちの寝装品卸及びファッション事業内のベビー・キッズ商品の卸販売事業の撤退に関する特別損失の計上をすることにより大幅な当期純損失を計上する見込みとなりました。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上